

## 成田空港の脱炭素化の取り組みが世界的な評価を獲得！

～空港カーボン認証レベル4を取得しました～

このたび、成田空港は、空港カーボン認証（Airport Carbon Accreditation）\*<sup>1</sup>プログラムにおいて、脱炭素化に向けた取り組みが世界的に評価され、レベル4を取得しました。

成田国際空港株式会社（NAA）は、レベル3取得後の2021年3月に脱炭素化に向けた中長期目標を掲げた「サステナブルNRT2050」を発表し、空港関連事業者と連携して、省エネルギーの推進、空港関連車両の脱炭素化、SAFの導入など、成田空港全体のCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んできました。

今回のレベル4取得にあたっては、これらの取り組みに加え、空港内に大規模な太陽光発電の導入をはじめとした様々な脱炭素化の取り組みを加速させることで、パリ協定に基づく経路に沿ったCO<sub>2</sub>排出量の総量削減のプランが、国際空港評議会（ACI: Airports Council International）\*<sup>2</sup>から高く評価されました。



空港カーボン認証レベル4認証書

本プログラムは、ACIが世界の空港における脱炭素化の取り組みを7段階で評価するもので、今回取得したレベル4は「Transformation（変革）」と呼ばれ、空港管理者が自らのCO<sub>2</sub>排出量を削減するだけでなく、空港関連事業者と協力して空港全体のCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組むことが求められています。

レベル4以上を取得している空港は、会員約2,200空港のうち、先進的な取り組みを進めている約5%の空港のみとなっています。

今後も、空港内に新たに建設する施設のZEB\*<sup>3</sup>化や、さらなるSAFの導入拡大など、具体的なアクションプランを策定し、空港関連事業者と連携を強化して成田空港全体の脱炭素化に取り組んでまいります。

～成田空港は、空港の脱炭素化の取り組みを推進しています～

**NAA 成田国際空港株式会社 広報部**

〒282-8601 千葉県成田市成田国際空港内NAAビル E-mail: kouhou@naa.jp  
TEL 0476-34-5533 FAX 0476-34-5030 URL : <https://www.narita-airport.jp/ja/company/>

<お問い合わせ先>

経営計画部 サステナビリティ推進室  
片岡・菅原（TEL:080-5099-1962）

## 国際空港評議会（ACI: Airports Council International）からのコメント

ACIアジア太平洋・中東地域事務局長\*のステファノ・バロンチ氏は、このたびの認証取得について、次のようにコメントしました。



「成田国際空港がCO<sub>2</sub>排出量の削減に大きく前進し、アジア太平洋地域の空港のベンチマークとなったことに祝意を表します。  
成田国際空港は、効率的な炭素管理におけるリーダー的存在であり、より持続可能な未来を築くという強いコミットメントを示しています。  
これは、2050年までにネット・ゼロ・エミッションを達成するという私たち航空業界の共通のビジョンと一致するものです。」

\* ACIは、世界全体のほか、5つの地域（アフリカ、アジア太平洋・中東、欧州、中南米・カリブ、北米）に分かれての活動も行っています。

### \*1 空港カーボン認証（Airport Carbon Accreditation）

- ➔ ACIが、世界の空港における脱炭素化の取り組みを評価するプログラム
- ➔ ACI欧州地域により2009年に運用が開始され、順次ACI全世界地域に拡大
- ➔ レベル1からレベル5まで（レベル3,4には排出量のオフセットにより「+」付きが設定）の7段階があり、レベル5が最も高い
- ➔ レベル4とは、空港管理者のみならず空港関連事業者やお客様を含む空港運営に関して排出される全てのCO<sub>2</sub>について、パリ協定に基づく削減目標や削減計画を策定し削減を実行すること
- ➔ 詳しくはこちらのサイトをご覧ください（英語）  
<https://www.airportcarbonaccreditation.org/>



### \*2 国際空港評議会（ACI）

- ➔ 世界の空港管理者等が参加する国際機関で、1991年に設立
- ➔ ACIの会員数は、世界169カ国・地域、2,198空港を管理する754団体（2025年1月時点）
- ➔ 会員が管理する空港は、世界の旅客数の約90%をカバー



### \*3 ZEB（Net Zero Energy Building）

- ➔ 建築設計や自然エネルギーの活用により省エネ化したうえで、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物

